

バスの車内事故防止について（お願い）

公益社団法人「日本バス協会」の調べによると、バスの車内における事故は、事故全体の約3割を占めています。

とくに、65歳以上の女性の負傷が目立っており、骨折等の重傷事故につながりやすい傾向にあります。

急ブレーキやお客さまが着座する前に発車するなどの、運転士側の不注意による車内事故が全国的に発生しており、当社では運転士への指導・教育を反復し、事故の発生防止に努めています。

一方、バスが停留所に着いて完全に停止する前にお客さまが席をお立ちになることや、バスの走行中にお客さまが座席を移動されることによる車内事故も発生しています。

つきましては、車内における事故を防止するため、お客さまには次の点についてご協力をお願いします。

1. お降りの際は、**バスが完全に停車して、扉が開いてから席をお立ちいただくようお願いいたします。**
2. **バスの走行中は、座席の移動をしないようにお願いします。**

危険回避のため、やむをえず急ブレーキをかけることがあります。ご着席乗車による安全運行に、お客さまのご協力をお願いします。